2021.09.16 未来社会創造事業キックオフ公開シンポジウム マテリアル探索空間拡張プラットフォームの構築



マテリアル探索のためのマテリアルドックの構築

大阪大学大学院工学研究科物理学系専攻

小野 寛太



Materials Exploration space Extension Platform



材料開発の自動化から自律的な材料研究開発へ











小野寛太(大阪大学 / KEK)



上野哲朗(QST)



斉藤耕太郎(KEK / ランデフト)



羽合孝文(KEK)



鈴木雄太(総合研究大学院大学 / KEK)



中島優作(総合研究大学院大学 / KEK)



Materials Exploration space Extension Platform

マテリアル研究開発の未来像



持続可能社会の実現に必要な革新的物質・材料の探索・開発 → インフォマティクス・AI・ロボティクスを活用した物質・材料開発

必要とする特性から逆問題として材料や製造プロセスをデザイン



マテリアルドックのコモディティ化により計測が生み出す価値を飛躍的に向上

マテリアルドック構築



マテリアルドックの要素技術

最適な実験計画を自動で策定 する方法論

- 意思決定と関連している
- 最適な計測時間、計測ポイント
- 次に計測すべき探索点をデータから決める
- どこで終了すれば良いか

計測データ解析の自動化

- 急線者の経験と勘に頼っていた解析の自動化
- 次元削減:計測データ (高次元)
 → 物理量 (低次元)
- パラメータ最適化
- 知識発見
- 意思決定の支援

計測から生み出される価値





マルチスケール・マルチモーダル構造解析

モダリテ



マテリアルドック:最適な実験計画

測定の様子

X線スペクトル測定の流れ



マテリアルドック:実験をいつ止めるか





マテリアルドック:計測データ解析の自動化



ブラックボックス最適化を用いた結晶構造解析の自動化

Y. Ozaki, et al. npj Computational Materials, 6, 75 (2020)



結晶構造解析の自動化

結晶構造解析の問題点

- 非常に多くのパラメータ。局所解に収束。
- 専門家(熟練者)が試行錯誤してパラメータを設定(数時間~数日)



Y. Ozaki, <u>K. Ono</u> et al., npj Comp. Mat. 6, 75 (2020)

結晶構造解析を完全自動化:数時間~数日 → 数分 10倍以上



結晶構造解析の自動化:専門家を凌駕





■ 課題:問題を解かせるとドンドン賢くなる:メタ学習 (learning to learn)¹

マテリアルドック:解析自動化は熟練者を超える





マテリアルドック:意思決定の支援



ハイブリッドデータ解析 計測+機械学習と理論計算の両面からの最適化

Matsumoto, Hawai, and <u>K. Ono</u> Phys. Rev. Applied **13**, 064028 (2020)



計測データ解析では熟練者による意思決定が行われている マルチモーダル(計測データ解析と理論計算)の統合が重要¹³

CaaS: Characterization as a Service





個別のモダリティ(計測・解析手法)について数理 科学を活用して自動化・高速化・最適化 異なる計測(マルチモーダル)データの融合と マルチスケール定量情報・知識獲得

マテリアルドック:自律的な評価のためのエコシステム



CaaS - XRD

Automatic XRD Control Module Optimal Design of Experiments Module Crystal Structure Database (ICSD, COD) Automated Analysis (BBO-Rietveld) DFT Structure Optimizer Module



CaaS - NMR

開発予定

Set samples Run XRD Results (Quantitative, Structure) Control XRD





